

1. 働くこととは

働くことは会社（使用者）と働く人（労働者）の
約束によって成り立っています。

（1）会社が働く人に求めること

会社は、働く人に約束どおり職場に来て働いてもらうことを予定しています。会社に来るの
かどうかあてにならない人では困ります。無断欠勤はもちろん、突然の休みや遅刻は他の人の
迷惑になります。あらかじめ休むことや遅くなるのがわかっているときは、会社（上司）に
話しておかなければいけません。会社が必要としているのは、必ず出勤して仕事をしてくれ
る信頼できる人です。

会社では、たいてい一人ではなく、何人かのチームで仕事をします。上司の指示を聞いたり、
いっしょに働く人と協力したりして、職場全体で力をあわせて仕事をすすめていくことが求め
られています。

上司や先輩にいわれたことをきちんとやることは重要ですが、単にいわれた内容をそのまま
やるだけでは、あなたの能力の向上はありませんし、会社に貢献することもできないでしょう。
会社は働く人に、仕事に必要な知識や技術・技能を向上させていく積極的な姿勢を求めています。

（2）働く人が会社に求めること

働くときには、好きなことだけしていれば良いわけではありません。いくら好きなことでも、
働いて賃金・給料をもらわなければ、生活していくことができません。そのため、働く人は会
社に、約束どおりの賃金・給料の支払いを求めています。

働く人は、事故が多くて危険な職場や、いじめ、セクハラ・パワハラがあったり、暴力をふる
われたりするような会社で働きたいとは思いませんよね。ですから、会社には安全で快適な
職場をつくることが求められています。

また、働く人は、快適な環境で働きつづけられる会社を求めています。いつ会社をやめさせ
られるの心配になる環境では、安心して働くことができません。働く人にとって、安定して
いる会社かどうかはとても大切なことです。

